

## 地域密着型金融の取組みについて

当金庫では、地域金融機関として地域の活性化や地域経済の発展を第一に考えた「地域密着型金融」こそ信用金庫の原点と認識しており、「地域密着型金融」を経営戦略上の最優先課題と位置づけて活動しております。

平成20年度からの不況は、当金庫の営業エリアにおいても影響が大きく、中小企業の皆様にとっても厳しい経営環境が続いているものと思われます。この様な環境であるからこそ、地域と共に生きる地域金融機関としては、中小企業金融の円滑化に努める事が重要であると認識しており、従来からの預金・貸出金という金融仲介機能の強化のみに留まらず、お客様とのコミュニケーションを大切にし、お客様と共に様々な課題を共有し解決していく、課題解決型金融を基本とした、当金庫独自の地域密着型金融を推進していきたいと考えております。

そこで、平成21年3月をもって、「平成19年～20年度地域密着型推進計画」が終了いたしましたので、その結果を皆様にお知らせするとともに、前回の地域密着型金融の結果を踏まえて、新たに「平成21年～22年度地域密着型金融推進計画」を策定いたしましたので併せてお知らせいたします。

「平成 21～22 年度地域密着型金融推進計画」で注力する活動項目としては前回と同様に、

- I. 「ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化」
- II. 「事業価値を見極める融資をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底」
- III. 「地域の情報集積を利用した持続可能な地域経済への貢献」

を3大活動推進項目といたしますが、今回の地域密着型推進計画は、前回の地域密着型金融推進での課題を踏まえて、更に地元中小企業の皆様のお役に立てるような計画としており、金庫全体の活動として地域密着型金融を積極的に取り組んでまいります。

# 地域密着型金融の取組状況について

(H20年4月～H21年3月)

 豊川信用金庫

## I. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

### ① 創業・新事業支援

・事業計画策定支援のほか、立地やプロモーション面のアドバイスを行なうなど、スタートアップ支援を実施してまいります。

- ・診療所開院や美容院、福祉関係等の開業にあたり、事業計画のほか診療圏調査や販売促進に関するアドバイスを行なうなどスタートアップ支援を実施しました。
- ・地域の会議所が開催する「創業塾」で2回講師を務め、創業時における経営計画策定手法や資金調達手法について講演を実施しました。
- ・住宅建築事務所など、新たなビジネスモデルの検討や投資計画についてアドバイスを行ないました。
- ・創業・新事業支援活動の結果、7件 44百万円の融資実行も行いました。

・中小企業基盤整備機構との連携による新連携や地域資源活用プログラムなど、中小企業支援策を有効活用してまいります。

- ・地域の中小企業の経営革新を支援するため、中小企業基盤整備機構等と連携し「地域資源活用プログラム」認定申請作成支援(1社)、「農商工等連携事業」認定申請書作成支援(2社)を開始しました。
- ・平成21年2月25日、当庫の認定取得支援により食品製造業者1社が「農商工等連携事業」の認定を受けました。

・産学連携におけるコーディネーター機能を果たしてまいります。技術相談等産学連携コーディネート機能予定2社

- ・産学連携コーディネーター機能を発揮し、豊橋技術科学大学との技術相談を3社実施しました。

### ② 経営改善支援

・経営支援先として626先を選定し、経営支援部と営業店が一体となった経営支援活動を展開してまいります。

- ・経営支援先として626先を選定し、経営支援部と営業店が一体となった経営支援活動を実施した結果、60先がランクアップすることができました。
- ・幅広く多くの先に対する経営支援を実施した結果、「要注意先以下全先に対する取組先ランクアップ率」は3.0%となり、業界水準を上回ることができました。

・経営者、後継者の経営力を高めるため、中小企業基盤整備機構、中小企業診断協会と連携したセミナーを開催してまいります。

- ・中小企業基盤整備機構、中小企業診断協会、中京大学と連携して「会計セミナー」を開催し、財務、キャッシュフロー分析を通じて経営力強化を図る手法を学んで頂きました。《参加者：地域企業経営者、財務担当者150名》
- ・経営環境が悪化している状況を踏まえ、緊急的に「かわしん緊急経営支援セミナー」を開催し、専門家による緊急雇用安定制度の概要や活用策、資金調達手法などに役立つ対策について情報提供を行ないました。《参加者：地域企業経営者、財務・労務担当者》

**・当金庫職員の経営支援スキル向上のための研修を実施してまいります。**

- ・当金庫職員の経営支援スキル向上のための経営支援活動事例研修会を2回実施し、取引先企業の経営上の課題の抽出や解決策の提案内容など、経営改善に向けた検討を実施しました。
- ・地区担当者を対象に経営支援研修を2回実施し、決算書に基づく経営分析手法やロールプレイングなど経営支援スキル向上のための研修を実施しました。

**・中小企業診断協会と連携による「企業診断サービス」を希望する企業に対して実施してまいります。実施予定5先**

- ・中小企業診断協会と連携による「企業診断サービス」を7先に対して実施しました。
- ・受診いただいた企業では、新事業進出により売上高が向上するなど、企業業績の改善につながっております。

**・中京大学大学院ビジネス・イノベーション研究科と連携による「企業診断」を希望する企業に対して実施してまいります。実施予定1先。**

- ・中京大学大学院ビジネス・イノベーション研究科と連携し、「企業診断」を1先に対して実施しました。

**・愛知県信用保証協会と連携による「企業診断」を希望する企業に対して実施してまいります。実施予定8先。**

- ・愛知県信用保証協会と連携し、「企業診断」を14先に対して実施しました。

**③ 事業再生支援**

**・経営者や外部支援機関とともに事業再生に向けた具体策を検討してまいります。**

- ・事業再生による事業再構築を必要とする企業の再生可能性を検討し、経営者や外部支援機関とともに資産売却やM&Aによる事業見直しを検討しております。
- ・日本政策金融公庫や商工中金など政府系金融機関、地域の専門家である会計事務所や中小企業診断士とともに事業再生に向けた具体策を検討しました。

**・中小企業再生支援協議会の活用してまいります。**

- ・愛知県中小企業ファンドを活用した先について、中小企業再生支援協議会を交え定期的に情報交換を行い、企業の再生計画進捗状況をチェックするとともに、今後の改善策についても検討しております。

#### ④ 事業承継支援

・中小企業診断協会、中小企業基盤整備機構、民間専門家との連携により、事業承継支援に関する研究活動を実施してまいります。

・多くの企業の喫緊の課題である事業承継を支援するため、中小企業診断協会、中小企業基盤整備機構、民間専門家との連携による事業承継研究活動を11回実施しました。

・事業承継に関し、講演等を通じて現経営者や後継者に対して問題提起、啓蒙活動を実施してまいります。

・現経営者や後継者に早めの事業承継対策を講じていただくために、ライオンズクラブ等の会合に4回講師として参加し、講演活動を通じて問題提起、啓蒙活動を実施しました。  
・地域の事業承継に関する現状分析を行なうためのアンケートを実施し、問題提起、啓蒙活動に活用しました。  
・「かわしん経営塾」を半年間に渡り6回開催し、後継予定者や後継後間もない経営者に対して経営者として成長していただく場を提供しました。

・中小企業診断士等の専門家と連携し、事業承継計画の策定等、個社別・事案毎に円滑な事業承継に向けた支援を実施してまいります。

・中小企業診断士、弁護士等の専門家と共に企業に出向き、4社に対して個別の提案を実施しました。

## II. 事業価値を見極める融資をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

#### ① 職員の目利き力の向上

職員の目利き力の向上のため、内部講師による庫内研修の実施

内部講師による庫内研修を実施いたしました。

・新任融資係長研修 1回 ・経営支援活動事例研修 2回 ・融資研修会 9回

融資能力向上のため、外部研修への参加

外部研修へ積極的に参加いたしました。

<全国信用金庫協会>

・支店長講座 5名(5日間) ・次長講座 5名(5日間) ・目利き力実践講座 2名(5日間) ・企業再生支援講座 1名(4日間)

・融資法務セミナー 1名(3日間) 計13名

<東海地区信用金庫協会>

・業種別定性分析とアドバイスポイント講座 1名(2日間) ・しんきん渉外養成講座 2名(3日間) ・中堅管理者講座 1名(3日間)

・企業再生支援講座 1名(3日間) ・中小企業経営支援講座 3名(2日間) ・融資総合判断力養成講座 1名(3日間)

・融資セールススキルアップ講座 2名(3日間) ・平成20年度融資業務事例発表会 4名(1日間) 計15名

## ② 担保・保証人に過度に依存しない融資の推進

### 担保・保証人に過度に依存しない融資商品の開発推進

担保・保証に過度に依存しない融資の推進においては、平成19年度において「当金庫創立70周年記念期間限定 サポート70」を発売いたし、108件2,210百万円のご利用をいただきました。サポート70については、平成20年3月末をもって、終了いたしましたため、従来よりの「ご近所ローン」とともに、「目利き」商品である「パートナー」「パートナーA」を平成20年7月より、発売いたしご利用いただいております。

商品名	取扱期間	ご利用口数	ご利用金額
パートナー	平成20年7月～平成21年3月	49口	1,137,055千円
パートナーA	平成20年7月～平成21年3月	11口	20,800千円
合計		60口	1,157,855千円

### 新しい融資手法に関する検討を進める

- ・お客様が所有する機械設備等の資産を担保にして資金調達ができる、「しんきんMEサポート融資」の発売を検討しております。
- ・他のABL(動産担保融資)等新手法の導入も検討しております。
- ・その他の融資手法の取組み実績  
シンジケートローン / 4口 735百万円  
私募債 / 1口 80百万円

## ③ 事業再生に向けた積極的取組み

### 事業価値の高い再生支援先を選定し、公的機関と連携を図りながら事業再生支援を行います

活用してきましたDDS(債権を資本的劣後ローンに転換する手法)やファンド等のほかに、事業再生保証など、信用保証協会や政府系金融機関の活用等、新しいスキームの利用の検討をすすめてまいりました。

### Ⅲ. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

#### ① かわしんビジネス交流会の開催

##### ・かわしんビジネス交流会の開催

###### 【第4回かわしんビジネス交流会】

地域に根ざした金融機関として、地元中小企業の発展と地域経済の活性化支援を図ることを目的に、平成17年以降、毎年「かわしんビジネス交流会」を開催しております。地元の皆様の事業拡大支援を目指し、地元優良企業を広くPRし、新商品・新技術などの紹介、新規事業や加盟店募集の提案、異業種との情報交換、新たな分野への取組など新たなビジネスマッチングの場を提供し、地元中小企業のビジネスチャンスの創出を積極的に支援する目的としております。

日時：平成20年10月2日(木)10:00～16:00(開場式9:15～)

※文化振興として地元プロバスケットボールチーム「浜松・東三河フェニックス」の紹介、

陸上自衛隊豊川駐屯地の隊員による「三河陣太鼓」の演奏等を行いました。

場所：豊川市総合体育館

主催：豊川信用金庫

共催：東海地区しんきん経営者協議会、豊川信用金豊伸会連合会、豊川しんきんニュービジネスクラブ、(株)ベンチャー・リンク

後援：(独)中小企業基盤整備機構中部支部、豊川市、豊川商工会議所、豊川商工会議所青年部、豊橋技術科学大学

協賛：愛知県信用保証協会、7信金(豊橋、西尾、半田、碧海、豊田、蒲郡、浜松)、ひまわり農業協同組合

※従来の6信金に加え、浜松信用金庫の協力によりエリアを拡大しております。

基調講演：～お客様やお取引様から愛される条件～ビジネスマンの勝てる“自分ブランド”講座

講師 人材育成コンサルタント、米国公認会計士、CA-STYLE主宰 美月あきこ氏

出展：140社・団体

※豊川、豊橋、蒲郡、新城、田原の東三河全5市及び豊橋技術科学大学の出展を得て、産学官の連携強化を図ることができました。

参加者：3,000名

[マッチング状況]

マッチング成立 7件

商談中 30件

情報交換等 2件

計 39件

#### ② お客様の声のアンケート」の実施

##### ・お客様の声のアンケートの実施

###### 【アンケートの実施】

お客様からのご意見・ご要望を頂戴し、よりお客様に満足して頂ける「かわしん」を目指すため平成20年12月8日から26日にかけて、「お客様の声アンケート」を実施いたしました。お客様からいただいた貴重なご意見・ご要望を業務活動に活かし、これまで以上にお客様にご満足頂ける「かわしん」づくりに努めてまいります。

###### 【アンケート結果の公表】

合計1,034名のお客様にご協力いただき、平成21年3月31日に集計結果及び改善状況等を当金庫ホームページに公表いたしました。

### ③ 情報提供機能の強化

#### ・情報機能の強化

豊川信金ニュービジネスクラブ及びイーグルクラブ豊川支部の活動を通じて、情報提供を行いました。  
また、ベンチャーリンク社の「情報インデックス」、タナベ経営の「経営情報レポート」、全国信用金庫協会の「ふれあいインデックス」等の各種レポートにより、お客様のお役に立つ情報提供に努めております。  
東三河地区の企業の景気動向についてアンケート調査を行い、かわしんレポート「ふれあい」を発行しました(4,7,10,1月発行)。



## 地域密着型金融の取組みにかかる主要開示計数

【平成20年4月～平成21年3月】

(単位：先数)

		期初債務者数 A	うち 経営改善支援取組 み先 $\alpha$	$\alpha$ のうち期末に債 務者区分がランク アップした先数 $\beta$	$\alpha$ のうち期末に債 務者区分が変化し なかった先 $\gamma$	$\alpha$ のうち再生計画 を策定した先数 $\delta$
正 常 先 ①		3,165	0		0	0
要 注 意 先	うちその他要注意先 ②	1,570	530	36	482	70
	うち要管理先 ③	51	25	19	4	12
破綻懸念先 ④		254	71	9	54	23
実質破綻先 ⑤		113	0	0	0	0
破 綻 先 ⑥		21	0	0	0	0
小 計 (②～⑥の計)		2,009	626	64	540	105
合 計		5,174	626	64	540	105

		経営改善支援取組 み率 = $\alpha / A$	ランクアップ率 = $\beta / \alpha$	再生計画策定率 = $\delta / \alpha$	創業支援・ 新事業支援 融資実績	個人保証・不動産 担保に過度に依存 しない融資の取組 み実績
正 常 先 ①		0.0%		0.0%	7件	60件
要 注 意 先	うちその他要注意先 ②	33.8%	6.8%	13.2%	44百万円	1,157百万円
	うち要管理先 ③	49.0%	76.0%	48.0%		
破綻懸念先 ④		28.0%	12.7%	32.4%		
実質破綻先 ⑤		0.0%	0.0%	0.0%		
破 綻 先 ⑥		0.0%	0.0%	0.0%		
小 計 (②～⑥の計)		31.2%	10.2%	16.8%		
合 計		12.1%	10.2%	16.8%		